※令和４年度以降入学生用

学校番号	3036

令和５年度　地理歴史科

教科	地歴	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「歴史総合　近代から現代へ」　（山川出版社）						
副教材等	「最新世界史図説タペストリー 二十一訂版」　（帝国書院） 「ウィニングコンパス　世界史の整理と演習２０２３」　（東京法令出版） 「詳説日本史図録　第 10 版」　（山川出版社） 「新日本史研究ノート[標準編]」　（啓隆社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じよう。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持とう。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考えよう。
・授業の前に教科書を読み（予習）、集中して授業を受けて学習内容を理解する（授業）、次に授業プリントを参照しながら教科書を何度もじっくり読みこみ､学習内容を確認･理解する(復習)。この予習→授業→復習のリズムを確立させること。

２　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち､グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

(3) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を、歴史的な見方、考え方を働かせつつ、適切かつ効果的に調べまとめている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、や現在とのつながりなどに着目することができる。概念などを活用して、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて多角的に考察、判断できる。またそれらを効果的に説明したり、議論したりすることができる。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に、自ら課題を見つけ、それを主体的に追究、解決しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	歴史の扉	歴史と私たち 歴史の特質と資料	a:身近な主題をもとに、それらが日本や世界の歴史とつながっていることを理解している。その際、資料をその種類・性質等に留意しつつ利用できている。 b: 主題を近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて考察し、資料から読みとった情報の意味や意義、特色などを整理し、表現している。 c: 身近な題材に対してみずから「問い」を立て、歴史との関連を追究しようとしている。	定期考査 授業内課題	定期考査 授業内課題 授業内討論・発表等	授業内課題 提出課題 授業内討論・発表等 振り返りシート 観察

※令和４年度以降入学生用

	結びつく世界	・アジア諸地域の繁栄と日本 ・ヨーロッパにおける主権国家体制の形成とヨーロッパ人の海外進出	a:16 世紀のアジア各国の大帝国、ヨーロッパ諸国のアジア交易への進出、清と江戸幕府の政治・経済政策の特徴、宗教改革と科学革命、ヨーロッパで成立した主権国家体制、イギリスやフランスなど各国の国家の特徴について理解するとともに、諸資料を用いてこれらについてまとめている。 b:設定された主題について、 相互の関連、類似点、相違点や現在とのつながりに着目しつつ、多角的に考察し議論している。 c:アジアの国々を結んでいたアジア域内貿易のあり方について追究しようとしている。 ・「大航海時代」の結果として進んだ「世界の一体化」と現代の「世界の一体化」＝グローバル化の共通点と相違点を見出そうとするなど、時代の特徴を追究しようとしている。	定期考査 授業内課題	定期考査 授業内課題 授業内討論 ・発表等	授業内課題 提出課題 授業内討論 ・発表等 振り返りシート 観察
	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	・ヨーロッパ経済の動向と産業革命 ・アメリカ独立革命とフランス革命 ・19 世紀前半のヨーロッパ ・19 世紀後半のヨーロッパ ・19 世紀のアメリカ大陸	a：ヨーロッパ各国の植民地の獲得と経済発展、大西洋三角貿易の展開とイギリスの技術革新・産業革命の関係、産業革命の展開や市民革命による国民意識の広がり、19 世紀における欧米の国民国家成立、アジア各地の植民地化と変容、中国の開港、日本の開国などの主題を、地図や図表など各資料を活用して調べ、理解している。 b:設定された主題について、 相互の関連、類似点、相違点や現在とのつながりに着目しつつ、多角的に考察し議論している。 c:産業革命がもたらした世界的な課題、アメリカ独立・フランス革命によって形成された国民国家が、従来とはどのような点で異なるのか、アジア各地域の植民地化の過程、欧米諸国の進出に対する改革への模索などについて、自ら見つけ課題を見つけ追究している。	定期考査 授業内課題	定期考査 授業内課題 授業内討論 ・発表等	授業内課題 提出課題 授業内討論 ・発表等 振り返りシート 観察

※令和４年度以降入学生用

	明治維新と日本の立憲体制	明治維新と諸改革 明治初期の対外関係 自由民権運動と立憲体制	a: 大政奉還の上表以降、明治新政府が成立していった経緯を理解している。四民平等へ向けた諸改革を理解し、文明開化の風潮と広まりを整理し、理解している。 b:大政奉還のねらいをふまえ、明治新政府の成立や戊辰戦争の展開を理解する。琉球処分や北方開発などに留意しながら、日本が領土を画定させていった経緯を理解する。自由民権運動がおこった背景および運動の高まりや担い手の広がりについて理解し、それに対する政府の対応を理解する。 c:新政府の方針をとらえるとともに、諸藩がどのように対応したかを、新政府側、諸藩側の立場にたって探究しようとしている。大日本帝国憲法の史料を読み、その内容について現在の日本国憲法と比較して、相違点や共通点について具体的に追究しようとしている。	定期考査 授業内課題	定期考査 授業内課題 授業内討論 ・発表等	授業内課題 提出課題 授業内討論 ・発表等 振り返りシート 観察

※令和４年度以降入学生用

	帝国主義の展開とアジア	条約改正と日清戦争 日本の産業革命と教育の普及	a:明治政府の条約改正の展開が、清を中心とした東アジアの国際関係にどのような影響を与えたのか理解している。日清戦争の原因・過程・結果を年表にまとめている。日清戦争後に政府が軍備拡張と産業育成を進めるにあたり、政党がどのように対応したかを理解している。 b:条約改正が成功した国際的な背景を理解し、その交渉経過や、締結された条約内容について理解する。日清戦争がおこった背景を理解し、戦争の推移・結果や、その後の日本と清・朝鮮に対する影響について考察する。日本の産業革命について、どのような特色をもち、国内や貿易にどのような影響をおよぼしたかを理解している。 c:山県有朋首相の演説や「脱亜論」の史料を読み、その内容を比較して、相違点や共通点を具体的に追究しようとしている。産業革命の影響は人々の生活にどのような変化をもたらしたのかを、工業面、農業面など多面的・多角的に追究しようとしている。	定期考査 授業内課題	定期考査 授業内課題 授業内討論・発表等	授業内課題 提出課題 授業内討論・発表等 振り返りシート 観察
後期		帝国主義と列強の展開 世界分割と列強の対立 日露戦争とその影響	a：帝国主義諸国の政治的動向、帝国主義による世界の一体化とそれにより圧迫されたアジア・アフリカの動き、日露戦争がおきた背景やその影響を地図などの諸資料を用いて調べ、理解している。 b：設定された主題について、 相互の関連、類似点、相違点や現在とのつながりに着目しつつ、多角的に考察し議論している。 c：列強の動きに対して、植民地された地域において人々はどのような動きをして対応していったかを深く追究しようとしている。	定期考査 授業内課題	定期考査 授業内課題 授業内討論・発表等	授業内課題 提出課題 授業内討論・発表等 振り返りシート 観察

※令和４年度以降入学生用

	第一次世界大戦と大衆社会	第一次世界大戦とロシア革命 国際平和と安全保障 アジア・アフリカ地域の民族運動 大衆消費社会と市民生活の変容 社会・労働運動の進展と大衆の政治参加	a:第一次世界大戦によって成立した総力戦体制とその影響による社会の変化、ロシア革命とそれに対する日本など各国の対応、ヴェルサイユ体制とワシントン体制による国際秩序のあり方、第一次世界大戦後のヨーロッパ各国の社会動向、アジア・アフリカ諸国における民族運動の展開、アメリカにおける大量消費社会に到来などについて、グラフや図版など諸資料を用いて調べ、理解している。 b：設定された主題について、 相互の関連、類似点、相違点や現在とのつながりに着目しつつ、多角的に考察し議論している。 c：国際連盟と国際協調路線のなかで結ばれた条約について、その成果や課題を自ら見つけを追究しようとしている。第一次世界大戦後の西アジアにおける民族運動の展開と今日の中東情勢の関係について考察し、追究しようとしている。アメリカで成立した大量消費社会と日本の大衆文化・消費文化のつながりを追究しようとしている。	定期考査 授業内課題	定期考査 授業内課題 授業内討論・発表等	授業内課題 提出課題 授業内討論・発表等 振り返りシート 観察
	経済危機と第二次世界大戦	世界恐慌の発生と各国の対応 ファシズムの台頭 日本の恐慌と満洲事変 日中戦争と国内外の動き 第二次世界大戦と太平洋戦争	a:世界恐慌をはじめとする経済危機、日中戦争、第二次世界大戦、太平洋戦争について、写真、映像、地図などの諸資料を活用して整理し、その社会的影響を理解している。 b:設定された主題について、 相互の関連、類似点、相違点や現在とのつながりに着目しつつ、多角的に考察し議論している。 c:第二次世界大戦や太平洋戦争がもたらした国際社会の変化や課題を主体的に追及しようとしている。	定期考査 授業内課題	定期考査 授業内課題 授業内討論・発表等	授業内課題 提出課題 授業内討論・発表等 振り返りシート 観察

※令和４年度以降入学生用

	戦後の国際秩序と日本の改革	新たな国際秩序と冷戦の始まり アジア諸地域の独立 占領下の日本と民主化 占領政策の転換と日本の独立	a:２つの世界大戦を経た国際社会は平和と安定をどのようにして構築していこうとしているか、冷戦という枠組みの成立、アジア諸地域の独立、日本の独立について写真、映像、地図などの諸資料を活用して整理し、その社会的影響を理解している。 b:設定された主題について、相互の関連、類似点、相違点や現在とのつながりに着目しつつ、多角的に考察し議論している。 c:冷戦という新たな対立がおこった、背景・過程を追及し、冷戦がアジアの諸地域や中華人民共和国・中華民国にもたらした変化や課題を主体的に追及しようとしている。	定期考査 授業内課題	定期考査 授業内課題 授業内討論・発表等	授業内課題 提出課題 授業内討論・発表等 振り返りシート 観察
	冷戦と世界経済	集団防衛体制と核開発 米ソ両大国と平和共存 西ヨーロッパの経済復興 第三世界の連携と試練 55 年体制の成立 日本の高度経済成長 核戦争の恐怖から軍縮へ 冷戦構造のゆらぎ 世界経済の転換 アジア諸地域の経済発展と市場開放	a:資本主義陣営、社会主義陣営や第三勢力の動向、核開発競争や緊張緩和、冷戦構造の変化、世界経済の変容などを地図やグラフを用いて整理し、理解している b:設定された主題について、 相互の関連、類似点、相違点や現在とのつながりに着目しつつ、多角的に考察し議論している。 c:今日の核軍縮と核保有国の実態と課題、石油危機以降、原油価格の高騰やエネルギー問題などを主体的に追及し、解決に向けて構想している。	定期考査 授業内課題	定期考査 授業内課題 授業内討論・発表等	授業内課題 提出課題 授業内討論・発表等 振り返りシート 観察

※令和４年度以降入学生用

	グローバル化する世界	冷戦の終結と国際情勢 ソ連の崩壊と経済のグローバル化 開発途上国の民主化と独裁政権の動揺 地域紛争の激化 国際社会のなかの日本	a:冷戦の終結とその後の国際社会の動向について、写真、地図やグラフなどの諸資料を活用して、調べ理解している。 b:設定された主題について、 相互の関連、類似点、相違点や現在とのつながりに着目しつつ、多角的に考察し議論している。 c:経済を軸とした地域統合によって目指した未来像が、今日の世界経済とどのように重なっているのかを見出そうとしている。日本の国際貢献のあり方の変化に、経済面などの日本の国際社会における影響力の変化を見出そうとしている。	定期考査 授業内課題	定期考査 授業内課題 授業内討論 ・発表等	授業内課題 提出課題 授業内討論 ・発表等 振り返りシート 観察
	現代の課題	現代世界の諸課題 現代日本の諸課題	a:グローバル化のなかで福祉国家体制のなかから、新たに登場した新自由主義について理解している。エネルギー問題について、原子力発電の今後のあり方や自然エネルギーの活用について理解し、どのように対応していけばよいかを理解している。人口減少の要因、今後の対応について理解している。 b:グローバル化がもたらす問題について、原因を考察し、どのように対応していけばよいかを理解する。地域紛争やテロ、難民に対する排外主義の問題について、その要因を理解し、どのように対応していけばよいかを考察する。現代日本の課題である人口減少にどのように対応していけばよいかを考察する。 c:近隣諸国との関係について、防衛強化の面・平和と安全の面といった多面的・多角的視点からよりよいあり方を追究しようとしている。	定期考査 授業内課題	定期考査 授業内課題 授業内討論 ・発表等	授業内課題 提出課題 授業内討論 ・発表等 振り返りシート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度